



つのがい 角替石材店 新聞



夏本番を迎え、暑さの厳しい季節になりました。いかがお過ごしでしょうか。さて突然ですが、今年も水出し紅茶の季節になりました！インドから届く紅茶のお話です。毎年石の取引会社から水出しの紅茶を仕入れています。インドで原石を扱う仕事をしているうちに、せっかくならと、本場の紅茶を扱うように

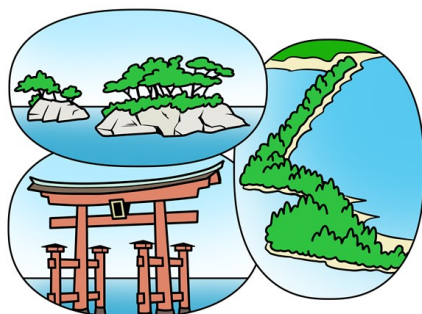
なったそうです。温かい紅茶の取り扱いもちろんありますが、何とんでもこの時期は、水出し紅茶の出番です！麦茶を作るのと同じ要領で、紅茶パックを1リットルの水に入れて一晩おけば、朝には出来上がりです。さわやかな南インドのニルギリ産の紅茶はスッキリとした喉ごしで、暑い時期にぴったりです。この時期の水分補給は、とても大切です。弊社でも販売しておりますので、ご興味のある方は、是非お声がけください！



知って いますか？ 7月の記念日

●7月21日は「日本三景の日」です

日本三景観光連絡協議会が2006年に制定しました。日本三景は、江戸時代初期に儒学者 林春斎が著書『日本国事跡考』で「松島」「天橋立」「宮島」を「日本三景」と称したことに由来し、林春斎の誕生日にちなんで制定されました。いずれも国の特別名勝に指定され、1996年には宮島の厳島神社がユネスコの世界文化遺産に登録されました。



■発行者：株式会社 角替石材店
専務：角替立弘（つのがい たつひろ）

昭和46年富士市生まれ。

岳陽中、富士宮北高、建築の学校を経て、東京の設計事務所で2年間働きました。

父親、妻、息子2人の3世代5人家族です。読書とモノ作りが好きで、石はもちろん金属や紙を使って作品を作るのが趣味です！

※国家検定1級技能士（社長）

※二級建築士



角替石材店 展示場

0120-21-6649

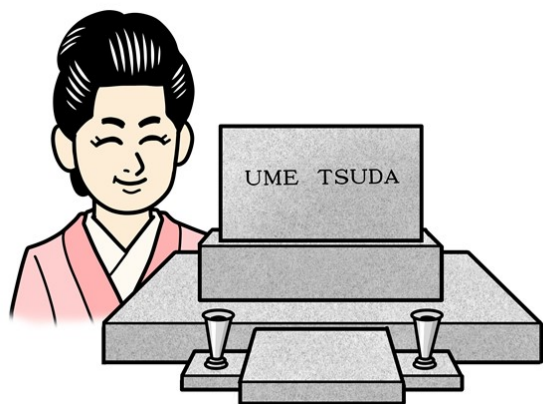
静岡県富士市厚原2108-3



～お墓・仏事のミニ知識～



★ 5千円札の顔「津田梅子」のお墓



津田梅子は明治から大正にかけて日本の女子教育に尽力した教育家で、津田塾大学の創設者としても知られていますが、そのお墓が同大学の小平キャンパス敷地内にあることをご存じでしょうか？梅子はわずか6歳で「岩倉使節団」の一員となりアメリカへ留学しました。帰国後も女性の地位向上に尽力し、その後、現在の津田塾大学を創立。「墓は小平の新校地に建てて欲しい」と遺言しました。許可が下りず一度は青山に埋葬されたものの、後に遺族や卒業生などの要望で許可が得られて小平へ改葬されます。お墓正面はローマ字で「UME TSUDA」と彫刻されています。今も校舎から少し離れたグラウンドの奥で、静かに眠っています。

神事クイズ Q&A

知っているようで知らない神事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

「千本鳥居」で有名な京都府の伏見稲荷大社。
実際にある鳥居は何基でしょう？

- ① 約100基
- ② 約1,000基
- ③ 約10,000基

ヒント

すべて奉納されたもので、現在も増え続けていますので、かなりの数です！



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。